

安全データシート

飼料添加物

炭酸コバルト

飼料品質改善協議会

プレミックス研究会

連絡先:

会社名 日本ニュートリション株式会社

住所 東京都港区南青山一丁目1番1号 新青山ビル西館22階

電話番号: 03-5771-7890

FAX 番号: 03-5771-7894

緊急連絡先: 03-5771-7890



作成年月日: 2015年12月4日

1. 化学品名 炭酸コバルト

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分4

	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入・ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入・蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入・粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入・ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	区分1（呼吸器、心臓）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素		
絵表示またはシンボル	 	
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	飲み込むと有害（経口） 吸入するとアレルギー、ぜん息または呼吸困難を起こすおそれ 発がんのおそれの疑い 長期または反復暴露(吸入)による呼吸器系、心臓の障害	
注意書き	【安全対策】 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙しない。 取り扱い後はよく手を洗う。 適切な保護手袋を着用する。 適切な個人用保護具を使用する。	

換気が十分でない場合は、適切な呼吸器用保護具を着用する。

環境への放出を避ける。

汚染された作業着は作業場から出さない。

粉じん、蒸気、ヒュームを吸入しない。

【救急措置】

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗う。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受ける。

汚染された衣類を再利用する前に洗濯する。

吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

吸入した場合、呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡する。

暴露またはその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受ける。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

漏出物を回収する。

【保管】

施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名	炭酸コバルト（Cobalt Carbonate）
成分及び含有量	Coとして 43.0%以上
化学式または構造式	CoCO ₃
官報公示整理番号 （化審法・安衛法）	1-126
CAS No.	513-79-1
国連分類及び番号	非該当
TSCA	登録有
EINECS No.	2081694
PRTR 法	一種 Co 43.0wt%以上 政令番号 1-132

4. 応急措置

吸入した場合	呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡する。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗う。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。多量に飲みこんだときは吐き出させる。 症状により、医師に連絡する。
予想される急性症状 及び遅発性症状	情報なし。

5. 火災時の措置

特有の危険有害性	この製品自体は燃焼しない。不燃性である。
----------	----------------------

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
回収・中和	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化方法と 機材	水で湿らせ、空気中のダストを減らし、分散を防ぐ。
二次災害の防止策	プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぎ、排水溝や下水溝への流出を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
取り扱い技術的対策	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取り扱い 注意事項	すべての安全注意を読み理解するまでは取り扱わない。 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取り扱いをしない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 取り扱い後はよく手を洗う。
接触回避	湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管	
技術的対応	特別に技術的対策は必要としない。
保管条件	容器を密閉して、高温、多湿を避ける。 施錠して保管する。
容器包装材料	データなし
8. 暴露防止及び保護措置	
管理濃度	0.02 mg/m ³ (as Co)
許容濃度（暴露限界値、 生物学的指標）	
ACGIH (2007年度版)	TLV-TWA 0.02 mg/m ³ (as Co)
日本産業衛生学会 (2011年度版)	0.05mg/m ³ (as Co)
設備対策	暴露を防止するため、装置の密閉化または局所集じん装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器用保護具を着用する。
保護眼鏡	適切な眼の保護具を着用する。
保護手袋	適切な保護手袋を着用する。
保護衣	適切な保護衣を着用する。
衛生対策	取り扱い後は良く手を洗う。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状态	
外観など	淡赤色微粉末
臭い	無臭
pH	データなし

融点	データなし
沸点	データなし
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
燃焼性 (固体、ガス)	不燃性
爆発範囲	不燃性
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸気速度	データなし
(酢酸ブチル=1)	
比重	4.13
溶解度	2.7 mg/100g・水(15°C)、希酸、炭酸水素アルカリ、炭酸アンモニウム溶液に熱時可溶。空气中で加熱すると CO ₂ を放出し、酸化され Co ₂ O ₃ となり、さらに高温では還元され Co ₃ O ₄ 、次いで CoO になる。
オクタノール・	データなし
水分分配係数	
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限温度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率 (導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性	不燃
安定性・反応性	水にほとんど不溶だが、希酸には炭酸ガスを発生して、徐々に溶ける。
その他	加熱、日光を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	急性経口毒性 (RTECS) LD ₅₀ >640 mg/kgラットに基づいて区分4とした。 急性毒性では、コバルトとして、 経口ラット LDLo=1500 mg/kg 筋肉ラット LDLo=112 mg/kg

	吸入-ラット $LDL_0=25$ mg/kg
	経口-ウサギ $LDL_0=20$ mg/kg
経皮	データなし
吸入 (蒸気)	データなし
吸入 (粉じん)	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な 損傷・刺激性	データはないが、結膜、角膜を刺激する事が知られている。
呼吸器感作性	コバルト及びコバルト化合物として日本産業衛生学会にて第1群(産業学会勧告(2011))、EUにてR42/43(EU-Annex-1)に分類されていることに基づいて区分1とした。
皮膚感作性	コバルト及びコバルト化合物として日本産業衛生学会にて第1群(産業学会勧告(2011))、EUにてR42/43(EU-Annex-1)に分類されていることに基づいて区分1とした。
生殖細胞変異原性 発がん性	データなし ACGIH(2001)で、A3(cobalt and inorganic compoundsとして)、LARC(1991)で Group2B(cobalt and cobalt compoundsとして)、日本産業衛生学会で第2群B(コバルト及びコバルト化合物として)に分類されていることに基づいて区分2とした。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・ 全身毒性 (単回暴露)	データなし
特定標的臓器・ 全身毒性 (反復暴露)	本製品のデータはないが、長期間コバルトを含む粉じん、フュームまたはミストを吸引すると重度の呼吸器系疾患を引き起こす。過敏な人は吸引すると呼吸困難となる気道障害を引き起こす。また、無機コバルト化合物の反復暴露により、呼吸器、心筋への影響があることが知られていることから区分1(呼吸器、心臓)とした。
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

水性環境有害性 (急性) データなし

水性環境有害性（慢性）	データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
汚染容器及び放棄	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。排水溝への流出は、できるだけ避ける。
14. 輸送上の注意	
国際規則	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
海洋汚染物質	非該当
国連番号	非該当
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送に関しては、容器の破損、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を行い、乱袋に注意する。 食品と一緒に輸送してはならない。
15. 適用法令	
大気汚染防止法	該当（コバルト及びその化合物）
労働安全衛生法	名称などを通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条第1項9の4） 名称を表示すべき危険物及び有害物（法57条の1、施行令第18条第1項9の4、別表3特定化学物質第2類物質13の2） 特定化学物質特別管理物質揭示（特定化学物質障害予防規則第38条3） 作業環境評価基準（第65条の2第1項） 健康診断（第66条の2）
化学物質管理促進法 （PRTR法）	第1種指定化学物質、特定第1種指定化学物質 （法第2条第2項、施行令第1条別表第1、施行令第4条） （政令番号：1-132）

16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの安全データシートの情報を参考にして、飼料品質改善協議会 プレミックス研究会が作成したものです。すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

- 正同化学工業株式会社 MSDS（2009年1月7日改定版）
- 14906の化学商品 化学工業日報社
- 化学物質管理促進法対象物質全データ化学工業日報社
- GHS分類対象物質一覧 製品評価技術基盤機構
- 産業中毒便覧、医歯薬出版
- 労働安全衛生法施行令
- 特定化学物質予防規則

<改訂履歴>

版	日付	内容
初版	2001年5月18日	—
第2版	2014年11月20日	GHS対応
第3版	2015年12月4日	文言修正など